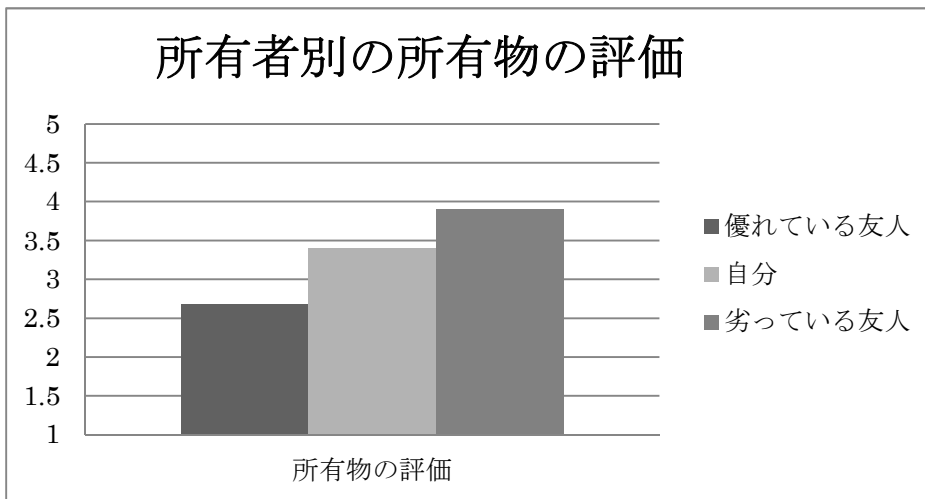


「隣の芝は青い」という ことわざ があるように…

同じ物でも他人の物の方が良く見えてしまうのはなぜか、ということについて研究しました。

大正大学に在籍する 81 名を対象に質問紙調査を実施した結果、以下のことが分かりました。

## ①物の評価は、所有者によって異なるのか？



結果…

同じ物でも、(自分より容姿や能力が)優れている友人の物の評価の方自分の物より評価が高く、(自分より容姿や能力が)劣っている友人の物の評価は自分の物の評価より低いという結果になりました。

つまり…

「他人の物が良く見える」のは、優れている友人が同じ物を持っていた場合に起こると考えられます。

## ②自分に対する様々な感情などが所有物の評価に影響するのか？

用語の解説…

- 自尊心：自分には価値があると考えること。
- 自己受容：今のままの自分で良いという感情。
- 自己評価：自分に対する否定的な評価。
  - 自己嫌悪：自分が嫌だと感じること。
  - 他者評価懸念：否定的な評価に対する恐れ。

### 自分の所有物の評価

自尊心・自己受容が高いほど、所有物の評価は高くなるといえます。

つまり…自分の所有物の評価には、自尊心・自己受容の感情が影響していると考えられます。

### 優れている友人の所有物の評価

自己受容が低く、他者評価懸念が高いとき、友人の所有物の評価は高くなるといえます。

つまり…自己受容の感情が低く、他者評価懸念の感情が高いとき、友人の優れている部分を過大視しているため、優れている友人の所有物の評価が高くなると考えられます。

### まとめ

物の評価は所有者によって異なり、「他人の物が良く見える」ということは、自分より容姿や能力が優れている友人が同じ物を持っている場合に起こりやすいといえます。また、自尊心・自己受容・自己評価といった感情が所有物の評価に反映され、自己受容の感情が低く、他者評価懸念の感情が高いときに起こりやすいといえます。